

理解を深めよう
もう一問!

Q5

今、社会では
性の多様性に関して
どんな取組がされているの？

少しずつではありますが、性の多様性への理解が社会の中で進みつつあります。性的マイノリティの方も含め、誰もが笑顔で暮らせる社会をつくるために、どんな取組がされているのか、いくつかの例を紹介します。

「ジェンダーレス※」なファッションや生活

性別の違いにとらわれず、自由に自分自身を表現する「ジェンダーレス※」なファッションや生き方が注目されています。

かつて、女子はセーラー服、男子は詰襟が多かった制服も、ユニセックスの制服が採用されるなどジェンダーレスの考え方が広がってきています。

※ジェンダーレス…性差（男女の社会的な差）が取り払われていること、および、取り払おうとする考え方のこと



女子大学でのトランスジェンダー学生の受け入れ

日本の女子大においてトランスジェンダー※の女性の入学を認めている大学があります。これは、多様な性別の方の学ぶ権利を保障することにつながります。

※トランスジェンダー…性自認（こころの性）と身体的性（からだの性）が一致していない方全般を表す言葉



全国で広がる「パートナーシップ制度」



同性同士の婚姻が法的に認められていない日本で、自治体が独自にLGBTQ+カップルに対して「結婚に相当する関係」を認め、公的サービスや社会的配慮等を受けやすくする制度です。受けられるメリットは、病院で面会や手術の同意など家族と同様の扱いを受けられたり、公営住宅への入居に家族

として入居可能になったりすることなどがあります。

※制度の名称や内容は自治体によって違います。

履歴書の性別欄から男女の選択肢がなくなる

2021年4月16日、厚生労働省は新たな履歴書の様式例として、性別欄を任意記載項目とした履歴書を公表しました。

氏)	※性別
	電話

男・女 の選択式でしたが
任意記載になっています。

ALLY (アライ)



元々、英単語の ally は「仲間」や「同盟」を表す単語で、そこから転じてLGBTQ+当事者たちに共感し、寄り添いたいと思う人を指すようになりました。みなさんも ALLY (アライ) になってみませんか。